2014年 秋季大会

講演題目

LHC-ATLAS 実験におけるハードウェアミュオントリガーシステムの改良

英文タイトル

Upgrade of the hardware muon trigger system for LHC-ATLAS experiment

要旨

高輝度下で行われるATLAS実験で効率良くデータ取得を行うためには、背景事象によるミュオントリガーの削減が不可欠である。2015年からの実験では現在までのエンドキャップ部トリガーチェンバーに対して、内部のチェンバーやハドロンカロリメータとのコインシデンスを要求することで背景事象によるトリガーのみを選択的に除去する。本講演ではミュオントリガー検出器とハドロンカロリメータの接続試験とコインシデンスの実装作業の現状について述べる。

(218文字)

所属

京都大学、神戸大学^{AA}、KEK^B

氏名

救仁郷拓人、石野雅也、隅田土詞、田代拓也

蔵重久弥^{AA}、長谷川誠^{AA}、矢力部遼太^{AA}、佐々木修^B

他 ATLAS 日本 TGC グループ